

ピュアキレイザー® (除菌・浄化 水処理装置) のご紹介



分野別適用表[参考]



分野	型式	ZPVS3U00-15	ZPVS3U01-15	ZPVS3U10-15	ZPVS3U11-15	ZPVS5U01-15	ZPVS5U11-15
温浴		～1.5m ³				～2.5m ³	
プール ※1		～15m ³				～20m ³	
農業用 養液量 ※2		～2.5m ³ (EC: 1.5mS/cm)				～4.0m ³ (EC: 1.5mS/cm)	
純水 再利用 ※3		～5m ³				～10m ³	
水景 ※1※4		～5m ³				～10m ³	
排水		※5				※5	

上記分野別処理量以上のご使用の場合や、水の状態（水温、有機物量、濁度、泉質等）その他利用者数、運転稼働時間により型式選定が異なる場合がございます。詳しくは弊社営業担当までお問い合わせください。

※1：プール、水景、畜養水槽などでは別途オゾン水処理槽【ZPV-ACT40】が必要な場合があります。弊社営業担当までお問い合わせください。

※2：EC 値が 1.5mS/cm 時の適正処理容量となります。EC 値が高くなると処理効果が落ちる場合がありますのでご注意ください。

※3：純水ラインの設置においては、溶存オゾン水による影響を懸念される場合は、UV 拡張ユニット【ZPVUV-20】のラインナップもございます。

※4：水景、畜養水槽には別途ろ過設備が必要な場合がございます。この場合はろ過機の二次側に本機を設置してください。

※5：排水処理については、利用用途によって型式選定が異なりますのでご承知願います。





ZPV1-40/ZPV1-H40

ZPV13-40

ZPVM15-65

ZPVL30-125

ZPV1-40	ZPV1-H40	ZPV13-40	ZPVM15-65	ZPVL30-125
2~8m ³	6~12m ³	10~30m ³	20~60m ³	—
20~80m ³	60~120m ³	100~300m ³	200~750m ³	500~5000m ³
~8m ³ (EC:1.5mS/cm)	~11m ³ (EC:1.5mS/cm)	~35m ³ (EC:1.5mS/cm)	~90m ³ (EC:1.5mS/cm)	—
—	—	—	~200m ³	~500m ³
~60m ³	~100m ³	~200m ³	~500m ³	~3000m ³
※5	※5	※5	※5	※5

大水量時の対応
(複数台使用)

上記記載されている用途別処理量以上のご使用に際しては、お客様の仕様に適したご提案をいたしますので、弊社営業担当までお問い合わせください。

ピュアキレイザー® (除菌・浄化 水処理装置) のご紹介



型式別仕様書



項目 \ 形式		ZPVS3U00-15	ZPVS3U01-15	ZPVS3U10-15	ZPVS3U11-15
オゾン原料		空気			
オゾン発生量 (g/h) ※1		0.3			
排オゾン処理 ※2		—	—	標準	標準
循環ポンプ		— ※3	標準	— ※3	標準
循環水量 (ℓ/min)		循環ポンプによる ※3	最大 11[50Hz] 13[60Hz] ※4	循環ポンプによる ※3	最大 11[50Hz] 13[60Hz] ※4
電源		AC100V 50/60Hz			
消費電力		110W	425W	140W	455W
使用周囲 温度範囲		0℃～40℃ (凍結不可)			
流体温度		0℃～40℃			
耐圧 (通水部)		0.3MPa			
2次側圧力		0.04MPa以下			
配管口径		Rc1/2	VP16 Rc1/2	Rc1/2	VP16 Rc1/2
安全装置		①漏電保護 ②低流量時停止 ③過電流保護 (ヒューズ) ④外装取外し時オゾン、紫外線停止			
構成品		本体	本体 + ポンプ	本体 + 排オゾンガス処理	本体 + ポンプ + 排オゾンガス処理
材料	接液部	硬質塩ビ SUS304/316 変性PPE 石英ガラス ホウ珪酸ガラス フッ素ゴム 酸化チタン フッ素樹脂			
	外装	SUS304			
外形寸法 横×奥行×高さ (mm)		214×387×341.5	270×384×593	270×557×748	270×557×748
質量 (kg)		16	26	24	30

※1: エア流量、酸素量、温度、圧力等により変化することがあります。
※2: 排オゾン処理とは、余剰オゾンガスを分離し分解するシステムのことで、密閉空間での使用には必要となります。
※3: ポンプが付属しない仕様型式においては、循環ポンプを別途用意願います。ピュアキレイザー1次側の圧力を100kPa以上になるよう選定してください。循環水量は50Hz、60Hzで異なります。



ZPV55U01-15



ZPV55U11-15



ZPV1-40/ZPV1-H40



ZPV13-40

ZPV55U01-15	ZPV55U11-15	ZPV1-40	ZPV1-H40	ZPV13-40
空気				濃縮酸素
0.5		1.5	2.0	6.0
—	標準	標準		
標準	標準	—		
最大 11[50Hz]/13[60Hz]※4		50～150 (最大200)		
AC100V 50/60Hz				
425W	455W	880W+オートドレン部11W		1050W
0℃～40℃ (凍結不可)				0℃～40℃ (凍結不可) ※5
0℃～40℃		0℃～50℃		
0.3MPa				
0.04MPa以下		0.08MPa未満	0.18MPa未満	
VP16 Rc1/2		Rc1 1/2		
①漏電保護 ②低流量時停止 ③過電流保護(ヒューズ) ④外装取外し時オゾン、紫外線停止		①漏電保護 ②循環停止時自動停止 ③過電流保護(ヒューズ) ④供給エア圧力高低時停止 ⑤外装取外し時オゾン、紫外線停止 ⑥内蔵ポンプ流量低下警報		
本体+ポンプ	本体+ポンプ+ 排オゾンガス処理	本体 コンプレッサー(別梱包) オートドレン(別梱包)		本体 PSA(酸素濃縮器) (別梱包)
硬質塩ビ SUS304/316 変性PPE 石英ガラス ホウ珪酸ガラス フッ素ゴム 酸化チタン フッ素樹脂				
SUS304		SPCC(メラニン焼付塗装/ユニクロメッキ)		
270×384×593	270×557×748	491×460×約580 コンプレッサー部 415×約315×約514(別置き) オートドレン部 185×81×116(別置き)		491×460×約580 PSA:396×431×555(別置き)
26	30	40+17(コンプレッサー)+1.5(オートドレン)		40+38(PSA)

※4:内蔵ポンプの循環能力です。50Hz、60Hz及び配管構成等により流量は変わります。

※5:35℃以上では酸素濃度が低下することがあります。できるだけ35℃以下でご使用ください。

ピュアキレイザー® (除菌・浄化 水処理装置) のご紹介

型式別仕様書



ZPVM15-65



ZPVL30-125



UV拡張ユニット
ZPVUV-20

項目 \ 形式		ZPVM15-65	ZPVL30-125	ZPVUV-20
オゾン原料		濃縮酸素		—
オゾン発生量 (g/h) ※1		15	30	—
排オゾン処理 ※2		標準		—
循環ポンプ		—		
循環水量 (ℓ/min)		100~500	300~2000 (最小100) ※3	10~15 (S3/S5型の通水流量による)
電源		三相AC200V 50/60Hz		AC100V 50/60Hz
消費電力		1.5kW	2.8kW	100W
使用周囲 温度範囲		5℃~40℃ (凍結不可) ※4		0℃~40℃ (凍結不可)
流体温度		0℃~50℃ (凍結不可)		0℃~40℃ (凍結不可)
耐圧 (通水部)		0.3MPa		
2次側圧力		0.25MPa以下		0.04MPa以下
配管口径		Rc2 1/2 (ねじ込み)	JIS10K-125A フランジ接続	Rc3/4
安全装置		①漏電保護 ②循環停止時自動停止 ③エア流量異常停止 ④オゾン電流値異常停止 ⑤供給エア圧力高低時停止 ⑥ミキシングポンプ圧力異常停止 ⑦PSA異常 ⑧内蔵流量スイッチ	①漏電保護 ②循環停止時自動停止 ③エア流量異常停止 ④オゾン電流値異常停止 ⑤供給エア圧力高低時停止 ⑥流体・オゾナイザ温度異常停止 ⑦ミキシングポンプ圧力異常停止 ⑧PSA異常 ⑨内蔵流量スイッチ	①漏電保護 ②UV消灯時はピュアキレイザー 運転停止 (二次側オゾン流出防止)
構成品		本体 PSA (酸素濃縮器) (本体に据置)		本体 (UVランプ、配管一体型)
材料	接液部	硬質塩ビ SUS304/316 石英ガラス ホウ珪酸ガラス PTFE フッ素ゴム 酸化チタン PFA		硬質塩ビ SUS304 フッ素ゴム
	外装	SPCC/焼付塗装 (制御盤) SUS304 (架台)		
外形寸法 横×奥行×高さ (mm)		660×740×1584	970×780×1720	400×300×1300
質量 (kg)		100+39 (PSA)	220+39 (PSA)	28

※1: エア流量、酸素量、温度、圧力等により変化することがあります。
※2: 排オゾン処理とは、余剰オゾンガスを分離し分解するシステムのことで、密閉空間での使用には必要となります。
※3: ミキシングポンプのみでの利用時 (流量100ℓ/min) では、Rc1・1/4 (32A) の配管を使用します。
※4: 35℃以上では酸素濃度が低下することがあります。できるだけ35℃以下でご使用ください。